

トピックス

回復期リハビリテーション病棟協会 第31回研究大会

～in岩手～



2月2～3日に岩手県の盛岡市民文化ホール、盛岡地域交流センター（マリオス）、いわて県民情報交流センター（アイーナ）にて、第31回研究大会が開催されました。当院からは4名の職員が日々の研究内容を発表しました。会場にはたくさんの関係者が集まり、発表がありました。活発な意見交換もされ、有意義な時間を過ごしました。



お疲れ様でした！

テーマ
回復期リハ病棟の理想郷(イーハトーヴ)を考える
～診療・介護報酬同時改定を見据えて～

- 演題**
- 八谷 吉洋 言語療法士
「入院時経鼻胃管栄養脳卒中患者における
3食経口摂取の可否を予測する因子の検討」
 - 岡本 菜緒 作業療法士
「高次脳機能障害を呈し、復職を目指した症例について」
 - 西川 可奈子 作業療法士
「自宅退院後 ADL 自立度が低下した症例の振り返り」
 - 村上 知見 作業療法士
「重度介護状態の症例に対して感じる介護負担感とは
—追跡調査を通して妻の気持ちを確認して—」

感想・学んだことを
聞きました

初めての学会発表で、とても緊張しました。今は無事に終わることが出来てほっとしています。

半年程度内容を練って挑みました！院内でも報告会を行い、よりよいものを発表出来るよう取り組みました。

自分の発表だけでなく、他の発表を聞いてとても勉強になり、いい刺激をもらいました。